

※下記の内容をこちらからダウンロードできます。(PDF: 73KB)

# C型肝炎について

## (一般的なQ&A)

平成15年8月更新  
(改訂V版)

<作成>

厚生労働省

<作成協力>

財団法人ウイルス肝炎研究財団  
社団法人日本医師会感染症危機管理対策室

この『C型肝炎について(一般的なQ&A)』は、下記のホームページに掲載されています。

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>  
(財)ウイルス肝炎研究財団 <http://www.vhfj.or.jp/>  
(社)日本医師会 <http://www.med.or.jp/>

# 目次

「C型肝炎について～一般的なQ&A」について	1
<b>【簡易版】</b>	3
簡 Q1：C型肝炎とは？	3
簡 Q2：C型肝炎の原因は？	3
簡 Q3：C型肝炎ウイルスはどのようにして感染しますか？	3
簡 Q4：C型肝炎ウイルスは輸血（血液製剤も含む。）で感染しますか？	4
簡 Q5：C型肝炎の症状は？	4
簡 Q6：C型肝炎の検査法は？	5
簡 Q7：C型肝炎の治療法は？	5
簡 Q8：抗ウイルス療法とはどのようなものですか？	6
簡 Q9：肝庇護療法とはどのようなものですか？	6
簡 Q10：C型肝炎ウイルス感染の予防法は？	6
簡 Q11：C型肝炎になると肝硬変や肝がんになりますか？	7
簡 Q12：C型肝炎について国が講じている施策を教えてください。	7
<b>【詳細版】</b>	8
C型肝炎とは？	8
詳 Q1：C型肝炎とは何ですか？	8
詳 Q2：C型肝炎の原因は何ですか？	9
詳 Q3：C型肝炎にウイルスに感染すると、どのような症状がありますか？	9
診断と検査	9
詳 Q4：C型肝炎の検査はどこで受けることができますか？	9
詳 Q5：C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べるには、どのような検査がありますか？	9
詳 Q6：HCVのコア抗原検査とはどのようなものですか？	10
詳 Q7：核酸増幅検査（NAT）とは、どのようなものですか？	10
詳 Q8：C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べるための検査費用はいくら位かかりますか？	10
詳 Q9：C型肝炎ウイルス抗体検査では偽陽性がありますか？	11
詳 Q10：C型肝炎ウイルス抗体検査では偽陰性がありますか？	11
詳 Q11：感染後どのくらいの期間が経てば、「C型肝炎ウイルス抗体検査」でウイルスに感染したことが分かりますか？	12
詳 Q12：感染後どのくらいの期間が経てば、「C型肝炎ウイルス RNA 検査」でウイルスに感染したことが分かりますか？	12
詳 Q13：どのような人がC型肝炎の検査を受ければよいですか？	12
詳 Q14：C型肝炎ウイルス抗体が陽性であることが分かったら、どうすればいいですか？	12
詳 Q15：C型肝炎ウイルス持続感染者（HCVキャリア）であることがわかったらどれくらいの頻度で肝臓の状態を調べたらいいですか？	13
詳 Q16：肝臓の状態を調べるために病院ではどのような検査が行われているのですか？	13

詳 Q17: C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) で肝機能検査値の異常がみられる場合にはどうしたらいいですか?	14
詳 Q18: C型肝炎ウイルスに持続感染していても (C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) であっても) 肝機能検査が正常の場合がありますか?	14
詳 Q19: C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) であることがわかりましたが、アルコールはこれまでと同様に飲んでいいのでしょうか?	14
C型肝炎ウイルスはどのようにして感染するか?	15
詳 Q20: C型肝炎ウイルスはどのようにして人から人へ感染しますか?	15
詳 Q21: C型肝炎ウイルスは医療行為 (歯科医療含む。) で感染しますか?	15
詳 Q22: C型肝炎ウイルスは性行為で感染しますか?	15
詳 Q23: C型肝炎は夫婦間で感染しますか?	16
詳 Q24: C型肝炎ウイルスは家庭内で感染しますか?	16
詳 Q25: C型肝炎ウイルス (HCV) は保育所、学校、介護施設などの集団生活の場で感染しますか?	16
詳 Q26: C型肝炎ウイルスは輸血 (血液製剤も含む。) で感染しますか?	17
詳 Q27: 血液製剤の安全性向上のためにどのような予防対策が取られていますか?	17
詳 Q28: 核酸増幅検査 (NAT) とはどのようなものですか?	18
妊娠と授乳	18
詳 Q29: 妊婦はC型肝炎ウイルス抗体を検査しなければいけませんか?	18
詳 Q30: C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) の母親から生まれた子供への感染のリスクはどのくらいですか?	19
詳 Q31: C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) の母親からの授乳には注意が必要ですか?	19
詳 Q32: C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) の母親から生まれた子供には検査が必要ですか?	19
予防	20
詳 Q33: C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) が他人へのC型肝炎ウイルス感染を予防するにはどうすればいいですか?	20
詳 Q34: 一般に血液からの感染を予防するにはどうすればいいですか?	20
詳 Q35: C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) は性行為で何に気をつけなければいいですか?	20
詳 Q36: C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) は日常生活で何に気をつけて生活すればいいですか?	21
詳 Q37: C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) はA型やB型肝炎の予防接種を受けた方がいいですか?	21
C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) の長期予後	22
詳 Q38: C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) が、慢性肝炎、肝硬変、肝がんになる、あるいは死亡するのはどれくらいの割合ですか?	22
詳 Q39: C型肝炎で肝臓以外に症状がでますか?	22
C型肝炎の管理と治療	23

詳 Q40 : C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) の治療には専門医への相談が必要ですか?	23
詳 Q41 : 日本にはC型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) がどれくらいいると考えられていますか?	23
詳 Q42 : C型肝炎はどのように治療しますか?	24
詳 Q43 : 治療費用はいくら位かかりますか?	24
詳 Q44 : インターフェロン療法は効果がありますか?	24
詳 Q45 : インターフェロン療法及びインターフェロンとリバビリンの併用療法の副作用にはどのようなものがありますか?	25
詳 Q46 : インターフェロンによる症状や副作用を軽減する方法にはどのようなものがありますか?	25
詳 Q47 : インターフェロンおよびリバビリンを使用した治療は子供にも行えますか?	25
遺伝子型	26
詳 Q48 : ウイルスの遺伝子型とは何ですか?	26
詳 Q49 : C型肝炎に感染している人の治療にはウイルスの遺伝子型を調べる必要がありますか?	26
詳 Q50 : なぜ多くの人で感染が持続するのでしょうか?	26
詳 Q51 : 違う遺伝子型のC型肝炎ウイルスに感染しますか?	26
C型肝炎と保健医療従事者	27
詳 Q52 : 針刺し事故によるC型肝炎ウイルス感染のリスクはどのくらいですか?	27
詳 Q53 : C型肝炎ウイルス陽性の血液に触れた保健医療従事者はどのように経過観察すればよいですか?	27
詳 Q54 : C型肝炎ウイルスに感染した保健医療従事者は仕事上の制限を受けますか?	27
C型肝炎の検査について	
詳 Q55 : C型肝炎の検査を受ける方法には、具体的にどのようなものがあるのですか?	27
詳 Q56 : 「老人保健法による肝炎ウイルス検査」について具体的に教えてください。	28
詳 Q57 : 「政府管掌健康保健等による肝炎ウイルス検査」について具体的に教えてください。	28
詳 Q58 : 「保健所等における肝炎ウイルス検査」について具体的に教えてください。	29
その他	
詳 Q59 : C型肝炎について国が講じている施策を教えてください。	29

# 「C型肝炎について～一般的なQ&A」について

我が国のC型肝炎ウイルス持続感染者（HCVキャリア）は、150万人以上存在すると推定されていますが、自分自身が感染していることを自覚していないC型肝炎ウイルス持続感染者（HCVキャリア）が多く、さらに近年の知見によれば、感染者の中から肝硬変や肝がんへ移行する可能性があることが分かってきました。

厚生労働省は、外部の専門家からなる「肝炎対策に関する有識者会議」を設置し、平成13年3月に専門の立場からC型肝炎を中心とした今後の肝炎対策の方向性について報告書を取りまとめたいただきました。この中では、最近急速に知見が集積されてきたC型肝炎について、国民向けのQ&Aを作成し、わかりやすい知識の普及を行う必要性を指摘されています。

国民の方々が、C型肝炎に関する正しい知識を身につけることによって、病気の早期発見や重症化予防に結び付けることができるとともに、感染者に対する言われなき差別や偏見の除去にもつながります。

今回、厚生労働省では、「肝炎対策に関する有識者会議」の委員、財団法人ウイルス肝炎研究財団に所属する肝炎の専門家、社団法人日本医師会感染症危機管理対策室などのご協力をいただきながら、「C型肝炎について～一般的なQ&A」を作成しました。関係機関のご協力も得ながら、広く国民への情報提供となるよう活用したいと考えています。

平成13年4月

本年4月に作成された「C型肝炎について～一般的なQ&A」ですが、今回、フィブリノゲン製剤使用の実態と、同製剤使用後の肝炎発生状況が明らかになったことを受け、この事に関しての注意喚起、及び知識の普及を行う事を主たる目的として、改訂を行いました。それに伴って、さらにその他の部分で、よりわかりやすくするために表現の変更を併せておこなっております。

今回の改訂でも、財団法人ウイルス肝炎研究財団に所属する肝炎の専門家、社団法人日本医師会感染症危機管理対策室などのご協力をいただきながら作成しました。

今後も、関係機関との連携を保ちながら、国民への情報提供となるよう活用していきたいと考えています。

平成13年8月

平成13年11月にC型肝炎の治療薬「リバビリン」が認可され、平成14年4月より、C型肝炎の検査体制が新しくなります。これを受けて「リバビリン」については最新情報に改正し、新しい検査体制については追加掲載をおこない、今回の改訂を行いました。

今回の改訂でも、財団法人ウイルス肝炎研究財団に所属する肝炎の専門家、社団法人日本医師会感染症危機管理対策室などのご協力をいただきながら作成しました。

今後も、関係機関との連携を保ちながら、国民への正確で新しい情報提供を行えるよう努めてまいります。

平成14年2月

平成14年2月より、C型肝炎の治療薬であるインターフェロン製剤について、保険適用上及び診療報酬請求上の取り扱いが変更となりました。これを受けて内容の一部改訂を行いました。

今回の改訂でも、財団法人ウイルス肝炎研究財団に所属する肝炎の専門家、社団法人日本医師会感染症危機管理対策室などのご協力をいただきながら作成しました。

今後も、関係機関との連携を保ちながら、国民への正確で新しい情報提供を行えるよう努めてまいりたいと考えています。

平成 14 年 8 月

平成 15 年 3 月に厚生労働科学研究「肝炎等克服緊急対策研究事業（肝炎分野）」の初回の報告が行われ、C型肝炎の疫学、治療の上で多数の新知見が得られました。これを受けて報告書の内容を盛り込む形で大幅な改訂を行いました。

今回の改訂でも、財団法人ウイルス肝炎研究財団に所属する肝炎の専門家、社団法人日本医師会感染症危機管理対策室などのご協力をいただきながら作成しました。

今後も、関係機関との連携を保ちながら、国民への正確で新しい情報提供を行えるよう努めてまいりたいと考えています。

平成 15 年 8 月

## 【簡易版】

### 簡 Q1 : C型肝炎とは？

C型肝炎は肝臓の病気です。

肝炎になると、肝臓の細胞が壊れて、肝臓の働きが悪くなります。

肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、重症化するまでは自覚症状の現れないケースが多くあります。これは本来肝臓がもっている予備能の高さに由来しています。このことを正しく認識し、症状がなくてもきちんと検査をして病気を早く発見することが大切です。

肝臓の働きには、

- 栄養分（糖質、たん白質、脂肪、ビタミン）の生成、貯蔵、代謝
- 血液中のホルモン、薬物、毒物などの代謝、解毒
- 出血を止める
- 胆汁の産生と胆汁酸の合成
- 身体の中に侵入したウイルスや細菌の感染を防御する

などがあり、我々が生きていくためには健康な肝臓であることがとても大切です。

### 簡 Q2 : C型肝炎の原因は？

肝炎を起こす原因にはいろいろありますが、わが国ではそのほとんどが肝炎ウイルスの感染によるものであることが明らかにされています。これらをウイルス肝炎と呼んでいます。

ウイルス肝炎のうち、C型肝炎ウイルス（HCV）の感染によるものをC型肝炎と呼びます。

### 簡 Q3 : C型肝炎ウイルスはどのようにして感染しますか？

C型肝炎ウイルスは感染している人の血液が他の人の血液内に入ることによって主として感染します。

C型肝炎ウイルスが感染するのは以下のような場合です。

- C型肝炎ウイルスが含まれている血液の輸血等を行った場合
- 注射針、注射器を感染している人と共用した場合
- C型肝炎ウイルスに感染している人の血液が付着した針を誤って刺した場合（特に、病院などで働く人たちは注意が必要です。）
- C型肝炎ウイルスに感染している人に使用した器具を適切な消毒などを行わずにそのまま用いて、入れ墨やピアスをした場合
- C型肝炎ウイルスに感染している人と性行為を行った場合（ただし、まれ）
- C型肝炎ウイルスに感染している母親からの生まれた子供の場合（ただし、少ない）

以下のような場合にはC型肝炎は感染しません。

- C型肝炎ウイルスに感染している人と握手した場合
- C型肝炎ウイルスに感染している人と抱き合った場合
- C型肝炎ウイルスに感染している人とキスした場合（唾液では感染しません）
- C型肝炎ウイルスに感染している人の隣に座った場合
- C型肝炎ウイルスに感染している人と食器を共用した場合
- C型肝炎ウイルスに感染している人と一緒に入浴した場合等

簡 Q4：C型肝炎ウイルスは輸血（血液製剤も含む。）で感染しますか？

わが国では1989年11月に全国の日赤血液センターにおいてC型肝炎ウイルス（HCV）感染予防のための検査（HCV C1003抗体検査）が世界に先がけて導入されました。そして、その後の急速な進歩に合わせて、1992年2月からはより精度の高い検査（HCV抗体検査）にいち早く切り替えられたことから、輸血によるC型肝炎ウイルス（HCV）の感染はほとんどみられなくなりました。

さらに、1999年10月からは核酸増幅検査（NAT）が全国的に導入されたことから血液の安全性は一段と向上しています。

平成4年（1992年）以前に輸血（や臓器移植手術）を受けたことがある方は、当時はC型肝炎に感染している血液か否かを高感度で検査する方法がなかったことから、C型肝炎に感染している可能性が高くなっています。

また、フィブリノゲン製剤の投与を受けた方（フィブリン糊としての使用を含む。）、又は昭和63年（1988年）以前に血液凝固第Ⅷ、第Ⅸ因子製剤の投与を受けた方は、これらの製剤の原料（血液）の検査、C型肝炎ウイルスの不活化が十分になされていないものがありましたので、C型肝炎に感染している可能性があります。

上記に該当する方は、主治医に相談の上、C型肝炎の検査を受けることをお勧めします。

フィブリノゲン製剤は、産科の疾患その他で出血が多かった方や、大きな手術をされた方に使われた可能性があります。フィブリノゲン製剤が使用された可能性がある疾患については、

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/0105/h0518-2a.html#betu1>

をご参照ください。

簡 Q5：C型肝炎の症状は？

C型肝炎ウイルスに感染していても症状がない場合が多くあります。一般的に症状が重いとされる急性肝炎の場合でも自覚症状がみられる人は2～3



割程度で、全身けん怠感に引き続き食欲不振、悪心・嘔吐(おうと)などの症状が出現することがあります。これらに引き続いて黄疸(おうだん)が出現することもあります。他覚症状として、肝臓の腫大がみられることがあります。慢性肝炎の場合では、自覚症状のない場合が非常に多いと言われています。

#### 簡 Q6 : C型肝炎の検査法は？

C型肝炎ウイルス (HCV) に感染しているかどうかは採血して検査します。

HCV 抗体陽性の人の中には、「現在ウイルスに感染している人」(C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア)) と「HCV に感染したが治ってしまった人」(感染既往者) とがいます。

このため、現在では、C型肝炎ウイルス持続感染者 (HCV キャリア) と HCV 感染既往者とを適切に区別するために血液中の HCV 抗体の量 (HCV 抗体価) を測定することと、HCV のコア抗原を検出すること、および核酸増幅検査 (NAT) により HCV RNA を検出すること、の 3 つの検査法を組み合わせる方法が一般的に採用されています。

なお、HCV に感染した直後であるために、身体の中に HCV がいても、HCV 抗体が作られる以前 (HCV 抗体陰性) の時期 (HCV 感染のウィンドウ期) に検査を受ける場合もありますが、これは新規の HCV 感染の発生が少ないわが国では、ごくまれなこととされています。

#### 簡 Q7 : C型肝炎の治療法は？

C型肝炎慢性肝炎の治療法には、大きく分けて、抗ウイルス療法 (さまざまな種類のインターフェロンを用いた治療法、インターフェロンとリバビリンの併用療法など) と肝庇護療法の 2 つの方法があります。

インターフェロン治療の適否は、身体の状態、C型肝炎の病期、活動度の他に、血液中の C型肝炎ウイルス (HCV) の量、HCV の遺伝子型 (ジェノタイプ) などにも左右されます。

抗ウイルス療法により十分な効果が得られなかった場合でも、肝庇護療法といって肝細胞の破壊のスピードを抑える (肝炎の活動度を抑える) 治療法によっても、慢性肝炎から肝硬変への進展を抑え、遅らせることができます。

肝硬変まで進展している場合でもごく初期の段階であれば抗ウイルス療法の適否を考える価値は十分にあります。

肝硬変が、ある程度以上進んだ段階では、肝庇護療法を行いながら、超音波 (エコー) 検査などで肝がんの早期発見、早期治療を目指すことになります。

詳しくは主治医にお尋ねください。

簡 Q8 : 抗ウイルス療法とはどのようなものですか？

原因であるC型肝炎ウイルスを肝臓から追い出してしまう（完全治癒をめざす）治療法です。近年、特徴の異なるさまざまな種類のインターフェロンが開発、実用化されています。インターフェロンとリバビリンの併用療法も行なえるようになってきました。

実施するかしないか、いつ頃実施するか、については主治医とよく相談して決めて下さい。

簡 Q9 : 肝庇護療法とはどのようなものですか？

肝臓の細胞のひとつひとつを強くして肝炎の活動度を抑える治療法です。グリチルリチン製剤、ウルソデスオキシコール酸などが用いられています。そのほかに瀉血療法といわれるものもあります。これらの治療法は肝炎ウイルスに対する直接の効果はありませんが、ほとんどの人について肝炎を沈静化させる効果があります。継続して行うことが大切です。主治医とよく相談して下さい。

簡 Q10 : C型肝炎ウイルス感染の予防法は？

C型肝炎ウイルス（HCV）感染予防のためのワクチンは出来ていません。C型肝炎ウイルスに感染することを避けるためには、感染している人の血液になるべく触れないことが大切です。具体的には、以下のようなことに気をつけてください。常識的な社会生活を心がければ、感染することはないと考えられています。

- 歯ブラシ、カミソリなど血液が付いている可能性のあるものを共用しない。
- 他の人の血液に触るときは、ゴム手袋を着ける。
- 注射器や注射針を共用して、非合法の薬物（覚せい剤、麻薬等）の注射をしない
- 入れ墨やピアスをするときは、清潔な器具であることを必ず確かめる。
- よく知らない相手との性行為にはコンドームを使用する。

また、以上の行為の中には、そもそも違法なものが含まれています。感染する危険性が極めて高いことは言うまでもありませんが、行わないようにすることが基本です。

なお、現在、献血された血液は高い精度でC型肝炎ウイルスのチェックが行われており、ウイルスが含まれる場合は使用されていません。

C型肝炎ウイルスに感染している場合、あるいは感染の疑いがある場合には、検査の目的での献血は決して行わないようご協力をお願いします。

簡 Q11 : C型肝炎になると肝硬変や肝がんになりますか？

C型肝炎ウイルスに初めて感染した場合、70%前後の人が持続感染の状態に陥り、その後、慢性肝炎となる人も多く、さらに一部の人は肝硬変、肝がんへと進行すると言われていています。この経過を示すのに以下のようなデータがあります。

C型肝炎ウイルスに持続感染している40歳以上の100人を選び出すと、選び出した時点で、65～70人が慢性肝炎と診断されます。

また、献血を契機に見出された（自覚症状のない）C型肝炎ウイルス持続感染者（HCV キャリア）と抗ウイルス療法などの積極的治療を受けていなかった通院中のC型慢性患者計1,428人の経過観察結果をもとに、数理モデル（マルコフの過程モデル）を用いて、C型肝炎ウイルス持続感染者（HCV キャリア）の自然史を検証した成績をみると、C型肝炎ウイルス持続感染者（HCV キャリア）100人が適切な治療を受けずに70歳まで過ごした場合、

10～16人が肝硬変に

20～25人が肝がんに行進すると予測されています。

しかし、適切な治療を行うことで病気の進展をとめたり、遅くしたりすることができますので、C型肝炎ウイルスに感染していることが分かった人は、必ず定期的に医療機関を受診してその時、その時の肝臓の状態（肝炎の活動度、病期）を正しく知り、適切に対処するための診断を受けて下さい。

簡 Q12 C型肝炎について国が講じている施策を教えてください。

C型肝炎をはじめとするウイルス性肝炎の問題は、国民の健康に関わる重要な問題であり、肝炎対策に関する有識者会議報告書においても、「国民が、自身のC型肝炎ウイルス感染の状況を認識し、その結果に基づき必要な診療を受けることが重要」とされています。

このため、厚生労働省では、平成14年度から「C型肝炎等緊急総合対策」として、別表の通り、

- ① 広報の実施や継続的な情報提供などの啓発普及
- ② 現行の健康診査体制を活用したウイルス検査の実施
- ③ 「肝炎等克服緊急対策研究事業」の創設など、治療方法等の研究開発の推進
- ④ 標準的治療法の開発及び普及など治療体制の整備等の施策に取り組んでいます。

## 【詳細版】

### C型肝炎とは？

詳 Q1：C型肝炎とは何ですか？

C型肝炎は、C型肝炎ウイルス（HCV）の感染によって起こる肝臓の病気です。

肝炎になると、肝臓の細胞が壊れて、肝臓の働きが悪くなります。

肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、重症化するまでは自覚症状の現れないという特徴があります。これは本来肝臓がもっている予備能の高さに由来しています。このことを正しく認識し、HCVに感染していることがわかったら症状がなくてもきちんと検査をして病気を早く発見することが大切です。

肝臓の働きには、

- 栄養分（糖質、たん白質、脂肪、ビタミン）の生成、貯蔵、代謝、
  - 血液中のホルモン、薬物、毒物などの代謝、解毒、
  - 出血を止める、
  - 胆汁の産生と胆汁酸の合成
  - 身体の中に侵入したウイルスや細菌の感染を予防する、
- などがあり、我々が生きていくためには健康な肝臓であることがとても大切です。

C型肝炎の特徴を簡単にまとめると、以下のようになります。

- ・ C型肝炎はウイルス肝炎の一種である
- ・ C型肝炎はC型肝炎ウイルスの感染によっておこる
- ・ C型肝炎ウイルスは、血液を介して感染する
- ・ 急性期では、A型、B型肝炎に比べて症状が軽いことから、気付かない場合が多い。
- ・ C型肝炎ウイルスに感染すると、70%前後の人がC型肝炎ウイルス持続感染者（HCVキャリア）となる
- ・ C型肝炎ウイルス持続感染者（HCVキャリア）の65%から70%は、慢性肝炎となる
- ・ 40歳のC型肝炎ウイルス持続感染者（HCVキャリア）集団を70歳まで適切な治療をせずに放置した場合、20～25%の人が肝がんに進展すると予測されている
- ・ C型肝炎は抗ウイルス療法により完全に治癒することがある
- ・ 完全に治癒しない場合でも、肝底護療法により肝炎を沈静化させることができる